

R1年度教育サックス賞 受賞者一覧

No	表彰者名 /団体名	種別	受賞理由	内申校/園 学年等
1	名木野小学校 ボランティア隊	2号 団体	<p>校区にある「わかくさ中央保育園(南本町1)」を毎週土曜日に希望する児童が自発的に訪問している。ボランティア担当教諭が翌月の希望者数を調整して保育園に伝えている。</p> <p>令和元年度は、4月から12月までの訪問回数24回。のべ参加人数98人。児童にとっては、授業日でない休日に行う自発的なボランティア活動であり、自主性や協調性に加えて、思いやりの心などが育ってきている。また、あいさつや礼儀を学ぶ場ともなっている。</p> <p>園児にとっては、年上のお兄さんやお姉さんが来てくれて、一緒に遊んだり世話したりしてくれるので、とても楽しい時間となっている。</p>	名小
2	アンドウ マサカズ 安藤 正一	3号 個人	<p>田井小学校の伝統であり、児童や保護者、地域住民の自慢でもある「みつば太鼓」の創設にかかわり、創設時より10年以上の長きにわたって太鼓の技術や礼儀などを教えてくださっている。児童の自主性を尊重し、児童と共に創り上げたオリジナル曲を、毎年、その年の児童の実態、発表の場所や内容に合わせて、児童と一緒にアレンジを加えながら演奏するようにしている。</p>	田井小 53歳 会社員
3	リュウワカイ(ヤナ 柳和会(柳橋 ギバシマチロウジンカ 町老人会)	3号 団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成19年度から当校で始めた防犯パトロール制度に登録・参加し、今年度まで13年間に渡り、学区の安全・安心なまちづくりを推進するとともに、児童の登下校を見守り、交通安全指導や不審者対応に継続的にご尽力いただいている。</li> <li>4月下旬に全校児童と防犯パトロール隊との面識会を行い、防犯への意識を全校で高めている。</li> <li>6月下旬には独自に研修会を設定し、防犯意識の高揚を図っている。研修会は、見附警察署生活安全課職員を講師に招請し、学校代表職員、町内子ども会長(保護者)とともに、見附市の防犯対策や交通安全指導の現状を学ぶ機会となっている。また、研修会は、毎年継続的に実施され、防犯パトロールボランティア活動を継続・活性化していく取組についても情報交換を行い、常に新しい視点を取り入れながら、児童の安心・安全を支えてくださっている。</li> </ul>	葛小
4	アリスの会	3号 団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通して全20回、葛巻小学校にて読み聞かせを行っている。</li> <li>平成8年(アリスの会となったのは平成10年)から、読み聞かせを継続して行い、地域とつながりのある図書館教育を展開している。</li> <li>朝読書の時間(8:15~ 8:35) 会場は各学期を通して各学級や学年で行っている。</li> <li>国語科の学習時間に図書館教育とつながりをもたせた読み聞かせを行い、読書好きの子どもを育む一助となっている。</li> <li>昼休みは、希望者を募り、礼法室にて読み聞かせを行い、子どもに大人気である。</li> <li>くずはフェスティバルでは、「アリスの会」でブースを開き、子どもの人気コーナーとなっている。</li> </ul>	葛小

No	表彰者名 /団体名	種別	受賞理由	内申校/園 学年等
5	イシグロ イッコ 石黒 郁子	3号 個人	2012年より8年にわたり、継続して子どもたちの合唱のピアノ伴奏を引き受けてくださっている。お子さんが6年生のときの見附市小学校親善音楽祭の合唱のピアノ伴奏を引き受けたことが始まりだったが、その後、お子さんが卒業しても、入学式、卒業式、上北っ子フェスティバル、市の音楽祭、矢沢幸生命の詩のつどい、こぶし忌など、行事やイベントに伴奏者として参加して下さっている。当日に向けての練習では、朝活動の時間、学習時間、リハーサルのための音楽朝会など、何度も足を運んでくださる。ピアノ伴奏を引き受けてくださることで、職員が指導に集中できる。また、子どもたちも歌唱することに意欲的に取り組むことができ、大変助かっている。	上北小 62歳
6	イシダ ユウジ 石田 雄二	3号 個人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10年以上にわたり、児童の生活科・総合的学習の指導者として、学校教材園の整備、教職員への指導、児童への指導補助を行った。特に、学校教材園整備にあたっては、早朝より耕耘・施肥作業等を一人でい児童の学習活動を支援する等、献身的に取り組んだ。</li> <li>・学校環境整備・美化に尽力し、平成25年度よりグラウンド芝生維持管理協議会委員として学校のグラウンドの芝生維持管理に努めた。毎年、年間15回以上の芝生刈り作業を行い、児童の学習活動や地域のスポーツ少年団の活動を支援した。</li> <li>・学校グリーンカーテン作り作業等に携わり、児童の学習環境整備及び環境教育推進に多大な功績を残した。</li> </ul>	今小 72歳
7	ヒラガ ツジオ 平賀 一二男	3号 個人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10年以上にわたり、児童の安全確保のために交通安全ボランティアの活動を行った。毎日、通学路で児童の見守りを行うと共に、気になる児童には声をかけ、校門まで同行する等優しく接し支援していた。</li> <li>・昨年度より立ち上げた「今町小ながらパトロール隊(防犯組織)」に参加し、参加希望した地域住民への指導助言を積極的に行う等、組織の中心的役割を果たした。</li> <li>・毎年、学校が実施する「ふたばチャレンジウォーク(全校遠足)」や校内持久走大会等に安全ボランティアとして参加し、一般道路を歩行・走行する多くの児童の安全確保に協力した。また、行事に参加する保護者に対して、安全確保や児童への声かけ・支援の仕方等を丁寧に指導し、保護者と学校をつなぐパイプ役としての役割を果たした。</li> </ul>	今小 74歳
8	フジタ ヒサコ 藤田 久子	3号 個人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成19年から10年以上にわたり、児童の総合的学習の指導者として、地域伝統文化「今町べと人形」の歴史伝承、製作指導を行った。近年は、学校教職員に対しても実技指導や教育活動へのアドバイスを熱心に行い、児童への指導や伝統文化の普及に尽力した。また、学校の対外行事等に協力いただき、福島県伊達市との交流会では、見附市の伝統文化体験としてべと人形製作指導を行い、伊達市の児童に貴重な体験の場を提供した。</li> <li>・児童の愛校心を育むとともに学校・地域の活性化を願い、オリジナル曲「今小っ子音頭」を製作した。毎年、学習発表会での披露のために伝承会の仲間と共に学校を訪れ、踊りの指導だけでなく歌唱指導も行っている。大きな行事の度にこの歌を全校児童、保護者・地域住民で歌い踊っており、学校になくはならない大切な曲となっている。これら種々の取組は、学校貢献はもとより、地域貢献においても多大な影響を与えている。</li> </ul>	今小 74歳

No	表彰者名 /団体名	種別	受賞理由	内申校/園 学年等
9	田中 彩葉	2号 個人	見附市青少年ボランティアバンクに小学校5年生時に登録し、今年4年目となる。 今年度は、以下の活動に取り組んだ。 ・みつけケアセンターそよ風での活動 （話し相手、レクリエーション、お祭り手伝い、タオルたため等） ・市美術展受付 ・暑中お見舞い書き(市内在住のお年寄りに対して) ・認知症徘徊者搜索模擬訓練	見中 (2年生)
10	イシカワ シュンタロウ 石川 俊太郎	1号 個人	スポーツ・文化功労アシスト賞:全国大会上位入賞、県大会優勝、県大会上位入賞(2年連続)に該当するため  第49回(平成30年度)新潟県中学校ソフトテニス大会 男子団体 3位 個人(ペア)5位、5位 第50回(令和元年度)新潟県中学校ソフトテニス大会 男子団体 優勝 個人(ペア)2位、3位、5位 第40回(令和元年度)北信越中学校ソフトテニス大会 男子団体 優勝 個人(ペア)1位、3位 第50回(令和元年度)全国中学校ソフトテニス大会 男子団体 5位  平成29年4月より、男子ソフトテニス部顧問を務め、情熱あふれる指導により、男子団体戦において県大会及び北信越大会優勝、全国大会5位入賞に導いた。また、個人(ペア)においても北信越大会での1位をはじめとして、上位入賞に大きく貢献した。	西中 (職員)
11	イムラ ユウコ 井村 優子	1号 個人	スポーツ・文化功労アシスト賞:県大会優勝、県大会上位入賞(2年連続)に該当するため  第49回(平成30年度)新潟県中学校ソフトテニス大会 個人(ペア) 3位 第50回(令和元年度)新潟県中学校ソフトテニス大会 女子団体 3位 個人(ペア) 1位 第40回(令和元年度)北信越中学校ソフトテニス大会 女子団体 出場 個人(ペア) 出場  平成26年4月より、女子ソフトテニス部顧問を務め、情熱あふれる指導により、県大会個人(ペア)において当校ソフトテニス部を2年連続上位入賞に導いた。特に今年度は、県大会1位という素晴らしい成績に大きく貢献した。	西中 (職員)
12	あいさつ部 ボランティア部	2号 団体	ボランティア・善行賞:継続(3年程度)した活動に該当するため  <あいさつ部> 「あいさつがあふれる爽やかな学校にしたい。自分にできることを精一杯やりたい」という発足当時の趣旨を脈々と引き継ぎ、今年度も熱心に取り組んだ。7:55~8:10までの15分間、毎朝玄関及び通学路に立ち、登校する生徒のみならず、地域の方々にも明るい挨拶をした。  <ボランティア部> 「人の役に立ち、喜ばれることをしたい」と玄関や駐車場の雪かきや濡れた廊下の雑巾がけなど、校内にて自発的な活動をスタートした。以降、活動の場を徐々に校外に広げてきた。 ①市内一人暮らしのお年寄りに宛てて暑中見舞い書きのボランティア ②見附市市場組合の感謝祭(一・六市場)に参加し、栽培・収穫したさつまいもの販売、抽選会やちゃんこ鍋販売の手伝いなど ③葛巻小学校の「くずはフェスティバル」にて、5つの体験コーナーを企画・準備・運営	西中